



見えないリスクを

見える化

内臓脂肪CT検査

01

内臓脂肪を客観的に測定できる

02

生活習慣病（糖尿病・高血圧症・脂質異常症など）の予防に役立つ

03

ダイエットや運動の成果を確認できる

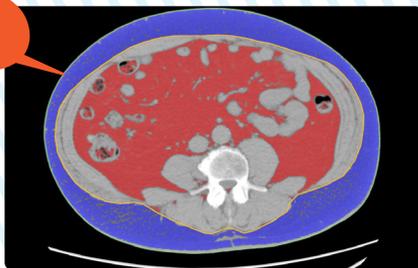
体 脂肪は、皮膚の下につく皮下脂肪と内臓の周りにつく内臓脂肪とに分けられます。内臓脂肪CT検査では、内臓脂肪面積から内臓脂肪型肥満の有無を判定します。

内臓脂肪が多いと脂肪細胞から悪玉ホルモンが分泌され、動脈硬化が進行して心筋梗塞や脳卒中が起りやすくなります。判定基準は、男女とも内臓脂肪面積が100cm²以上を超える場合、内臓脂肪型肥満と診断されます。

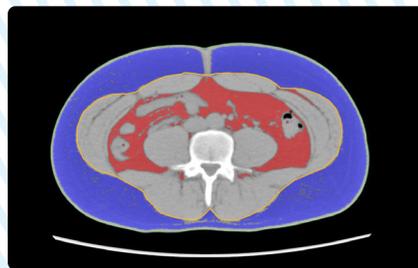
見た目はスマートなのに、お腹はぽっこり



内臓脂肪



（かくれ肥満（ポッコリお腹））



（正常）

- 皮下脂肪
- 内臓脂肪
- 腸管ガス
- 骨
- 筋肉・血管
- 腸管・脊髄

写真のAとBは腹部の断面像です。どちらの方も外見は、スマートなのですが腹部の断面写真を撮ってみると、Bの方（正常）に比べ、明らかにAの方の内臓脂肪（赤色）が多いことがわかります。

料金 5,500円